	天災	西暦	周期	伊勢	好不況	米価（円）	坂本龍馬	秋山好古	秋山真之	正岡子規	豊田佐吉	元号	名称	会歴
ペリーが６月３日に来航。		1853		神宮		政府買入価格						嘉永６年		
ペリーが１月１６日に再来校、日米和親条約締結	東海地震	1854		遷宮		６０キロあたり						安政元年		
安政の大地震。死者７０００人以上。	江戸大地震	1855				凶作						安政２年		
吉田松陰が松下村塾を再興。篤姫家定の御台所に		1856				大凶作						安政３年		
将軍・徳川家定、諸侯に外国との通商を開始させる		1857					21					安政４年		
井伊直弼、大老となる。安政の大獄		1858					22					安政５年		
吉田松陰刑死		1859					23	0				安政６年		
桜田門外の変、井伊直弼、桜田門外で暗殺		1860			幕末の経済混乱		24	1				万延元年		
和宮、江戸到着		1861					25	2				文久元年		
生麦事件。島津久光の家臣、イギリス人を斬る		1862					26	3				文久２年		
薩英戦争		1863					27	4				文久３年		
池田屋事件。禁門の変。第一次長州征伐		1864					28	5				元治元年		
第二次長州征伐		1865	冬			1.4	29	6				慶応元年		
薩長同盟成立。幕府、石見方面で大敗		1866				2.9	30	7				慶応２年		
坂本竜馬、暗殺される。王政復古の大号令		1867				1.4	31	8	0	0		慶応３年		
名古屋で東秋軍事件が起き、新政府軍に参加	人恋地快速	1868				1.6		9	0	1	1	明治元年		
薩長土肥四藩主、版籍奉還要請。		1869		遷宮		3.1		10	1	2	2	明治２年		
尾張藩の武家屋敷の解体が進む。平民に名字を許す		1870				1.8		11	2	3	3	明治３年		
廃藩置県。岡谷鋼機が七宝焼の会社を作り輸出		1871				1.1		12	3	4	4	明治４年		
徴兵制公布。太陽暦採用。三井銀行の前身が名古屋進出。		1872				0.8		13	4	5	5	明治５年		
征韓派敗れ、西郷隆盛など連袂辞職（明治六年の政変）。		1873				1.2		14	5	6	6	明治６年		
台湾出兵。佐賀の乱（首領・江藤新平）		1874				1.8				7	7	明治７年		
ロシアとの間に千島樺太交換条約。浅兵右衛門が名古屋本町に逝出。		1875				2.0				8	8	明治８年		
金禄公債を発行。武士が失業へ。秋山好古が名古屋に校長として赴任。		1876				1.1				9	9	明治９年		
西南戦争。第１回内国勧業博覧会に、愛知県企業も参加。		1877				2.5				10	10	明治１０年		
大久保利通暗殺。尾張藩士の北海道移住始まる。		1878				1.9				11	11	明治１１年		
琉球藩を沖縄県とする。名古屋でコレラが流行。		1879				2.6				12	12	明治１２年		
自由民権運動よいよ盛んとなる。国会期成同盟成立。		1880				4.0				13	13	明治１３年		
名古屋商法会議所が設立され、伊藤次郎左衛門が会頭就任。	台風	1881				3.2				14	14	明治１４年	名古屋商法会議所	0
日本銀行成立。滝一族が名古屋銀行設立（東海銀行の前身）		1882			松方デフレ	2.0				15	15	明治１５年	名古屋銀行	1
鹿鳴館落成、開館。	干ばつ	1883				1.2		24	15	16	16	明治１６年		2
自由党解党。秩父事件。		1884				1.8		25	16	17	17	明治１７年		3
第一次伊藤博文内閣発足。メッケル少佐が陸軍大学校で教鞭。		1885	春			1.7		26	17	18	18	明治１８年	名古屋商工会議所	4
秋山真之が海軍に入る。名護屋駅が開業	コレラ流行	1886				1.5		27	18	19	19	明治１９年		5
鹿鳴館舞踏会。広小路が名護屋駅まで拡幅。		1887								20	20	明治２０年		6
板垣院開院式。国鉄刈谷駅が開業		1888								21	21	明治２１年		7
大日本帝国憲法発布。名古屋市が誕生。名古屋電燈が設立。		1889		遷宮						22	22	明治２２年		8
第一回総選挙。コレラ流行。教育勅語。	コレラ流行	1890								23	23	明治２３年		9
ロシア皇太子を斬り付ける大津事件。	濃尾大地震	1891								24	24	明治２４年		10
愛知時計、名古屋倉庫（東陽倉庫の前身）が設立。	余震	1892								25	25	明治２５年		11
奥田正香が名古屋商業会議所の会頭に就任し長期政権へ。		1893								26	26	明治２６年		12
日清戦争宣戦布告。豊田佐吉が創業。豊田喜一郎が誕生。		1894			日清戦争不況					27	27	明治２７年		13
下関条約調印。三国干渉。日本政府、遼東半島還付に同意。		1895								28	28	明治２８年		14
愛知銀行（東海銀行の前身）設立。日本車輌製造設立	三陸地震	1896			日清戦争好況					29	29	明治２９年		15
金本位制採用。陸奥宗光某没。名古屋の有力商人が『九日会』を作る		1897								30	30	明治３０年		16
大隈栄一が大隈麺機商会を設立（オークマ）。	余震	1898								31	31	明治３１年		17
治外法権撤廃。井桁商会を設立し、豊田佐吉が技師長に。		1899			戦後不況					32	32	明治３２年		18
清朝北京で北清事変勃発。中央線が多治見駅まで開業		1900								33	33	明治３３年		19
日露間に緊張高まる。正岡子規死去。		1901							33	34	34	明治３４年		20
第一回日英同盟成立。		1902							34	35	35	明治３５年		21
小村寿太郎外相とロシアとの間で朝鮮満州をめぐる交渉。		1903			日露戦争不況				35		36	明治３６年		22
談判決裂、対露宣戦布告（日露戦争）。日本陶器が設立。	台風	1904							36		37	明治３７年		23
日本海海戦、日露戦争に勝利。		1905	夏		日露戦争好況	5.2		46	37		38	明治３８年		24
南満州鉄道設立。東海倉庫（東陽倉庫の前身）が設立。		1906				5.2		47	38		39	明治３９年		25
名古屋港が開港。『豊田式織機』が設立され、佐吉が常務		1907			日露戦争後恐慌	5.7		48	39		40	明治４０年		26
安井ミシン商会（ブラザー）が設立。		1908				4.9					41	明治４１年		27
福沢桃介が名古屋電燈の株を買い占めて名古屋に乗り込む。		1909		遷宮		4.0					42	明治４２年		28
鶴舞公園で博覧会。豊田佐吉が欧米視察へ。いとう呉服店が百貨店に。		1910				5.3					43	明治４３年	会議所	29
関税自主権の回復。工場法施行。		1911				6.1					44	明治４４年		30
名古屋商業会議所で鈴木摠兵衛が会頭就任。佐吉、栄生で工場完成。		1912				8.3					45	大正元年		31
東北で大凶作。納屋橋の渡工渡橋式		1913				7.2					46	大正２年		32
第一次世界大戦勃発。株価大暴落し、明治銀行で取り付け騒ぎ。		1914			欧州戦争不況	4.3					47	大正３年		33
中国に対し二十一箇条の要求。		1915				5.1					48	大正４年		34
第二次大隈内閣総辞職。大命は寺内正毅に降下。		1916			戦争特需景気	6.0					49	大正５年		35
ボルシェビキによるロシア十月革命。	ペスト流行	1917				8.4		58	49		50	大正６年		36
名古屋で米騒動勃発。佐吉が豊田紡織（株）設立		1918				14.6		59	50		51	大正７年		37
第一次大戦のパリ講和会議。敷島製パン、日本碍子設立		1919				20.0		60			52	大正８年		38
国際連盟発足。日本、常任理事国として加盟。		1920			戦後恐慌	10.0		61			53	大正９年		39
原敬首相、東京駅頭で暗殺される。		1921				14.0		62			54	大正１０年		40
モスクワにて第一回ソビエト大会。ソビエト連邦成立。		1922				10.0		63			55	大正１１年		41
関東大震災突発。		1923				12.4		64			56	大正１２年		42
豊田佐吉が「G型無停止杼替式豊田自動織機」完成		1924				15.2		65				大正１３年		43
治安維持法公布。松坂屋、南大津町に移転	台風	1925	秋			15.9		66				大正１４年		44
大正天皇崩御。 豊田佐吉が豊田自動織機製作所を設立。		1926				13.0		67				昭和元年		45
渡辺銀行などで取り付け騒ぎ。昭和金融恐慌始まる。		1927				13.0		68				昭和２年		46
治安維持法改正。全国に特別高等警察（いわゆる「特高」）設置。		1928			世界恐慌	10.0		69				昭和３年		47
ニューヨークで株価大暴落。「世界恐慌」の発端となる。		1929		遷宮		10.0		70			62	昭和４年		48
ロンドン海軍軍縮会議開催。		1930				8.0		71			63	昭和５年		49
満州事変突発		1931				6.0						昭和６年		50
上海事変、五・一五事件。犬養首相を射殺。		1932				10.0						昭和７年		51
国際連盟脱退。	三陸地震	1933				8.0						昭和８年		52
満州国、溥儀を皇帝として推戴。	室戸台風	1934				11.0						昭和９年		53
美濃部達吉貴族院議員の「天皇機関説」が問題化する。		1935				12.0						昭和１０年		54
二・二六事件勃発。日本特殊陶業設立		1936				11.0						昭和１１年		55
北京郊外盧溝橋で日中が衝突。国鉄名古屋駅が現在地に移転		1937				12.0						昭和１２年		56
国家総動員法公布。　現近鉄名古屋駅開業。		1938				13.0						昭和１３年		57
ドイツ軍、ポーランドに侵攻。第二次世界大戦勃発。		1939				15.0						昭和１４年		58
日独伊三国同盟締結。		1940				16.0						昭和１５年		59
日本軍、ハワイ真珠湾を奇襲攻撃。 名鉄の新名古屋駅開業。		1941				17.0						昭和１６年		60
ミッドウェー海戦。		1942			太平洋戦争	17.0						昭和１７年		61
第一回学徒出陣。		1943				18.0						昭和１８年		62
米軍、サイパン島上陸。国鉄金山駅が開業	東南海地震	1944				18.0						昭和１９年		63
昭和２０年	三河地震	1945	冬			1,204.0				ﾌﾗﾋﾞｱﾝﾗｲﾄ	全国	昭和２０年		64
日本国憲法公布。 名古屋で遊駐軍専用待合室の使用開始。		1946				1,384.0	有効求人	日経平均	円ドル為替	原油価格	倒産件数	昭和２１年		65
公職追放令、その適用範囲が財界、言論界にも及ぶ。		1947				1,643.0	倍率（全国）			1バレル＊円	1千万以上	昭和２２年		66
公務員の団体交渉権、争議権を禁止。		1948				2,080.0						昭和２３年		67
トヨタが深刻な経営危機		1949		遷宮	トップライン	2,048.0			360			昭和２４年		68
朝鮮動乱特需始まる。全国を９電力会社制にする。		1950			朝鮮動乱特需	2,504.0		102	360			昭和２５年		69
サンフランシスコ講和条約、日米安保条約調印。		1951				3,040.0		166	360			昭和２６年		70
皇居で血のメーデー		1952				3,454.0		363	360		178	昭和２７年		71
朝鮮戦争終結。ＮＨＫテレビ放送開始。台風13号	台風13号	1953				4,273.0		378	360		413	昭和２８年		72
神武景気へ向け景気拡大へ。		1954				4,003.0		356	360		845	昭和２９年		73
春闘方式の開始。自由民主党結成		1955			神武景気	4,064.0		426	360		605	昭和３０年		74
経済白書で「もはや戦後ではない」。国連加盟。		1956				4,028.0		549	360		1,123	昭和３１年		75
なべ底不況へ向け景気後退始まる。		1957			なべ底不況	4,129.0		475	360		1,736	昭和３２年		76
岩戸景気へ向け景気拡大へ。		1958				4,129.0		667	360		1,480	昭和３３年		77
挙母市が豊田市に改名。	伊勢湾台風	1959			岩戸景気	4,133.0		875	360		1,166	昭和３４年		78
池田内閣、所得倍増計画発表。地下鉄・栄町 － 池下間が開業。		1960				4,162.0		1,357	360		1,172	昭和３５年		79
大臘が横綱に。		1961				4,421.0		1,433	360		1,102	昭和３６年		80
オリンピック景気始まる。ＬＴ貿易（日中貿易）開始。		1962			転換型不況	4,866.0		1,420	360		1,779	昭和３７年		81
ガット11条国へ移行（貿易・為替の自由化）。		1963			オリンピック景気	5,268.0	0.70	1,225	360		1,738	昭和３８年		82
東海道新幹線開業。東京オリンピック。佐藤栄作首相。		1964				5,985.0	0.80	1,217	360		4,212	昭和３９年		83
山陽特殊鋼倒産。名神高速開通。		1965	春		証券不況	6,538.0	0.64	1,418	360		5,690	昭和４０年		84
アジア開発銀行設立。		1966				7,140.0	0.74	1,452	360		5,919	昭和４１年		85
資本の自由化。公害対策基本法成立。		1967				7,797.0	1.00	1,283	360		8,486	昭和４２年		86
いざなぎ景気。ＧＮＰが世界第2位となる。		1968			いざなぎ景気	8,256.0	1.12	1,715	360		10,013	昭和４３年		87
東名高速道路が開通。ﾌﾙ11号 史上初の有人月面着陸		1969				8,256.0	1.30	2,359	360		8,507	昭和４４年		88
大阪万博。円不況へ向け、景気後退へ。		1970			ニクソンショック	8,272.0	1.41	1,918	360		9,655	昭和４５年		89
ユニー誕生（ほていや、西川屋が合併）ニクソン・ショック		1971				8,522.0	1.12	2,714	360	648	9,147	昭和４６年		90
沖縄返還。田中角栄首相に。日中国交回復。	台風6号	1972			列島改造景気	8,954.0	1.16	5,208	308	764	7,140	昭和４７年		91
第1次オイルショック。石油不況へ向け景気後退へ。		1973		遷宮		10,301.0	1.76	4,307	301	780	8,203	昭和４８年		92
狂乱物価。戦後初のマイナス成長。名古屋市電が廃止		1974			第1次ｵｲﾙｼｮｯｸ	13,615.0	1.20	3,817	299	3,484	11,705	昭和４９年		93
マイナス成長脱し、景気拡大へ。赤字国債、本格化。		1975				15,570.0	0.61	4,359	298	3,116	12,605	昭和５０年		94
ロッキード事件。	台風17号	1976				16,572.0	0.64	4,991	304	3,496	15,638	昭和５１年		95
日航機ハイジャック。地下鉄・伏見 － 八事間が開業。		1977			円高不況	17,232.0	0.56	4,866	288	3,485	18,471	昭和５２年		96
日米半導体摩擦で日米協議。セントラルパークが開業		1978				17,251.0	0.56	6,002	242	3,071	15,875	昭和５３年		97
第2次オイルショック。「ジャパン・アズ・ナンバーワン」出版		1979				17,279.0	0.71	6,569	201	2,686	16,038	昭和５４年		98
日本の自動車生産1千万台突破し、世界一に。		1980				17,674.0	0.75	7,116	239	6,209	17,884	昭和５５年		99
日米自動車協議、対米輸出自主規制へ。		1981			第2次ｵｲﾙｼｮｯｸ	17,756.0	0.68	7,682	205	6,566	17,610	昭和５６年		100
トヨタエ販合併、中曽根康弘首相に		1982				17,951.0	0.61	8,017	228	7,767	17,122	昭和５７年		101
ハイテク景気に向け景気拡大へ。ファミコン発売。		1983				18,266.0	0.60	9,894	238	8,106	19,155	昭和５８年		102
グリコ森永事件。地下鉄・庄内緑地公園 － 浄心間が開業。		1984			ハイテク景気	18,668.0	0.65	11,543	235	6,807	20,841	昭和５９年		103
電電公社が民営化。円高不況に向け景気後退へ。日航機墜落。		1985	夏			18,668.0	0.68	13,113	255	7,389	18,812	昭和６０年		104
東京サミット。バブル景気に向け景気拡大へ。		1986			円高不況	18,668.0	0.62	18,701	193	5,394	17,476	昭和６１年		105
ＮＹ株式市場大暴落。国鉄分割・民営化。		1987				17,557.0	0.70	21,564	152	2,577	12,655	昭和６２年		106
半導体の市トシェア、世界の50%以上に。		1988			バブル景気	16,743.0	1.01	30,159	127	2,228	10,123	昭和６３年		107
消費税(3%)導入開始。 名古屋市営地下鉄桜通線開業。		1989				16,743.0	1.25	38,916	129	1,888	7,234	平成元年		108
湾岸戦争。不動産向け融資の総量規制実施→バブル崩壊へ。		1990				16,500.0	1.40	23,849	144	2,585	6,468	平成２年		109
平成不況へ向け景気後退へ。消費税5%に。ソ連消滅。	台風18号	1991				16,392.0	1.40	22,984	131	2,678	10,725	平成３年		110
東証株価５年ぶりに２万円を割る。バブル経済崩壊。		1992			バブル崩壊	16,392.0	1.08	16,925	126	2,023	14,167	平成４年		111
一人当たりの名目ＧＤＰ、日本が初の世界一		1993		遷宮		16,392.0	0.76	17,417	124	1,974	14,041	平成５年		112
関西国際空港開港。		1994				16,392.0	0.64	19,723	110	1,505	13,963	平成６年		113
阪神大震災。円、史上最高値		1995			カンフル景気	16,392.0	0.63	19,868	99	1,650	15,086	平成７年		114
持ち株会社解禁。金融ビッグバン構想。		1996				16,392.0	0.70	19,361	107	1,850	14,544	平成８年		115
消費税５%に。拓銀破綻。山一証券自主廃業。		1997				16,217.0	0.72	15,259	122	2,746	16,365	平成９年		116
金融再生委員会発足。名目ＧＤＰ、初のマイナス	台風7・8号	1998			列島総不況	15,805.0	0.53	13,842	127	1,733	19,171	平成１０年		117
JRタワーズ開業。日産、ルノーの傘下へ		1999				15,528.0	0.48	18,934	116	1,224	15,460	平成１１年		118
介護保険制度スタート。そごう倒産。	東海豪雨	2000			IT景気	15,104.0	0.59	13,786	107	2,654	19,071	平成１２年		119
小泉純一郎首相に。中央省庁再編。		2001				14,708.0	0.59	10,543	116	2,663	19,441	平成１３年		120
東海銀行がUFJ銀行になる		2002			デフレ不況	14,295.0	0.54	8,579	133	2,493	19,458	平成１４年		121
日本郵政公社発足。産業再生機構発足。		2003				13,820.0	0.64	10,677	119	3,438	16,624	平成１５年		122
トヨタ、純利益が国内初の1兆円突破。		2004					0.83	11,489	106	3,181	13,837	平成１６年		123
原油価格高騰		2005	秋		いざなみ景気		0.95	16,111	104	3,977	8,225	平成１７年		124
		2006					1.06	17,226	117	6,884	9,351	平成１８年		125
年金記録問題が表面化。		2007					1.04	15,308	121	6,595	10,959	平成１９年		126
リーマンショック。		2008			リーマンショック		0.88	8,860	107	9,352	12,681	平成２０年		127
民主党が大勝。		2009					0.47	10,546	90		13,306	平成２１年		128
		2010					0.52	10,223	90		11,658	平成２２年		129
東日本大震災。	東日本震災	2011			東日本震災		0.65	8,455	82		11,369	平成２３年		130

（株）北見式賃金研究所　北見昌朗　　平成２６年１月　寄贈

出来事	会頭	会頭の写真	地元の鉄道	元号	名古屋港 輸出1位	名古屋港 輸出	名古屋港 輸入	名古屋港 出超額	トヨタ	新愛知
				嘉永６年						
				安政元年						
				安政２年						
				安政３年						
				安政４年						
				安政５年						
				安政６年						
				万延元年						
				文久元年						
				文久２年						
				文久３年						
				元治元年						
				慶応元年						
				慶応２年						
				慶応３年						
				明治元年						
				明治２年						
				明治３年						
				明治４年						
				明治５年						
				明治６年						
				明治７年						
				明治８年						
				明治９年						
				明治１０年						
				明治１１年						
				明治１２年						
				明治１３年						
0 名古屋商法会議所創立　伊藤銀行（旧東海銀行）設立	伊藤次郎左衛門（名古屋）			明治１４年						
1 名古屋銀行設立（旧東海銀行の前身の1つで、現名古屋銀行とは無関係）				明治１５年						
2				明治１６年						
3				明治１７年						
4 名古屋商工会議所に改組 名古屋紡績開業				明治１８年						
5	山本新治郎			明治１９年						
6 尾張紡績設立 名古屋株式取引所設立 時盛社設立			名護屋駅として、熱田 － 清洲間に駅設開業。一宮駅が開業	明治２０年						
7 新愛知新聞（現中日新聞）創刊			名古屋駅に改称。国鉄岐阜駅が「加納駅」として開業	明治２１年						
8 名古屋市政施行 名古屋電灯（現中部電力）送電開始 東海道線全通	鈴木善六		国鉄刈谷駅が開業	明治２２年						
9 名古屋商業会議所に改組（商業会議所条例施行）				明治２３年						
10 濃尾大地震	堀部勝四郎		濃尾地震発生、新代駅舎が倒壊。駅舎は明治25年までに再建。	明治２４年						
11				明治２５年						
12 愛知時計製造所（現愛知時計電機）設立 名古屋倉庫（現東陽倉庫）設立				明治２６年						
13 愛知馬車鉄道（現名古屋鉄道）設立			愛知馬車鉄道（名鉄の前身）が設立	明治２７年						
14				明治２８年						
15 栄町に新所屋完成 御園座開場 日本車輌製造設立 愛知銀行設立 明治銀行設立			関西鉄道が現在の名古屋車両区付近に愛知駅を開設。	明治２９年						
16				明治３０年						
17 大隈麺機商会（現オークマ）設立			名古屋駅前に市電が乗り入れ。市電は笹島など5停留所	明治３１年						
18				明治３２年						
19 鈴木ヴァイオリン工場設立			中央西線の路線が多治見駅まで開業。千種駅が開業	明治３３年						
20				明治３４年						
21				明治３５年						
22				明治３６年						
23 日本陶器（現ノリタケカンパニーリミテド）設立	奥田正香			明治３７年						
24 名古屋高等工業学校（現名古屋工業大学）設立 三紡（名古屋紡、尾張紡、三重紡）合併				明治３８年	品目				生産台数	戸数
25 遠定設立 名古屋瓦斯（現東邦ガス）設立 東海倉庫（現東陽倉庫）設立 名古屋新聞（現中日新聞）創刊				明治３９年						
26 名古屋港開港 豊田式織機（現豊和工業）設立				明治４０年	陶磁器	65	132	-67		
27 安井ミシン商会（現ブラザー工業）設立				明治４１年	陶磁器	1,706	728	978		
28 渡米実業団に本所から3名（神野金之助、上遠野富之助、伊藤守松）参加			鉄路名称制定。東海道本線、中央西線、関西本線となる。	明治４２年	陶磁器	2,035	767	1,268		
29 第10回関西府県連合共進会開催 いとう呉服店（現松坂屋）栄町にデパート開店 醤商品陳列館開館 愛知電気鉄道設立				明治４３年	陶磁器	2,490	294	2,196		
30			実物支線（名古屋港線）開業。大曽根駅が開業。瀬戸電電(駅)が開業	明治４４年	陶磁器	1,810	280	1,530		
31 名古屋～北海道定期航路開設。入港祝賀会開催				大正元年	陶磁器	3,035	567	2,468		
32				大正２年	陶磁器	4,023	3,742	281		
33			電車焼き討ち事件発生、原首相車庫や樹機館が焼失した	大正３年	陶磁器	5,847	3,978	1,869		
34 電気製鋼所（現大同特殊鋼）設立	鈴木摠兵衛			大正４年	陶磁器	6,350	3,726	2,624		
35				大正５年	陶磁器	10,211	3,314	6,897		
36				大正６年	陶磁器	16,063	6,119	9,944		
37				大正７年	陶磁器	21,951	12,777	9,174		
38 日本碍子（現日本ガイシ）設立				大正８年	陶磁器	22,873	25,392	-2,519		
39 三菱内燃機製造株式会社名古屋工場（旧三菱重工業名古屋航空機製作所）設立				大正９年	陶磁器	34,426	22,334	12,092		
40 所屋を栄町から大池町へ移築				大正１０年	陶磁器	20,496	18,071	2,425		
41				大正１１年	陶磁器	21,927	31,074	-9,147		
42 大池町に新所屋完成	上遠野富之助			大正１２年	陶磁器	26,816	39,350	-12,534		
43				大正１３年	陶磁器	41,869	58,651	-16,782		
44 名古屋放送局開局			稲沢駅構内に稲沢操車場が開業	大正１４年	陶磁器	48,892	71,330	-22,438		
45 東陽倉庫（名古屋倉庫と東海倉庫が合併）設立豊田自動織機製作所（現豊田自動織機）設立				昭和元年	陶磁器	51,842	81,476	-29,634		
46				昭和２年	陶磁器	51,892	77,389	-25,497		
47 名古屋商工会議所に改組（商工会議所法施行）御大典奉祝名古屋博覧会開催				昭和３年	陶磁器	50,023	85,084	-35,061		
48 名古屋ゴルフ倶楽部・和合コース開設				昭和４年	綿織物	64,667	87,272	-22,605		